

◆当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

KAWAI

DIGITAL PIANO

PN390

取扱説明書

●同梱品

- 本体
 - スタンド一式
 - 譜面台
 - 専用椅子 (WB-6)
 - ヘッドホン (SH-2)
 - 電源コード
 - 取扱説明書 (本書)
 - スタンド組立図
 - 保証書
 - ご愛用者カード
 - アフターサービスと音楽教室のご案内
 - 「楽譜集」のご案内
 - 「楽譜集」の払込取扱票
- (全て各1部)

《ごあいさつ》

このたびは、KAWAI 電子ピアノをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。本機は、ピアノの音色はもちろんオルガンなど全12種類の音色で演奏を楽しむことができます。また、アドバンスドハンマーアクションⅢの採用により、高音から低音に向かってピアノのようにハンマーの重さが重くなっていく、リアルな鍵盤タッチで演奏することができます。さらに、自分の演奏を録音する機能、音に残響効果を与えるリバーブ、伝統的ないくつかの調律法による音律セッティングなど多彩な機能を装備しています。電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるようになっています。本機の性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

目次

◆ 安全上のご注意	2
1.各部の名称と働き	4
◆ パネル図	4
◆ ペダル	4
◆ ヘッドホン	5
2.演奏してみよう	6
1) 基本操作	6
◆ セッティング	6
◆ 音色の選択	7
2) デュアル演奏	9
3) スプリット演奏	11
4) リバーブ/エフェクト	13
5) タッチカーブ・セレクト	15
6) トランスポーズ	16
7) デモ曲の演奏	17
8) コンサートマジック	18
9) メトロノーム	24
3.録音・再生	26
1) 録音	26
2) 再生	29
3) パートのデータの消去	30
4.設定モード	31
1) チューニング	33
2) 音律の設定	34
◆ MIDI機能の使い方	36
◆ 本機MIDI機能	37
3) MIDI送信・受信チャンネル	38
4) プログラム(音色)ナンバー送信のON/OFF	39
5) ローカル・コントロール	40
6) マルチ・ティンバー・モード	41
7) チャンネルミュート	42
8) プログラム(音色)ナンバー送信	43
9) スプリット時の低音側の音色のオクターブシフト	44
10) スプリット時の低音側の音色へのダンパーペダル効果ON/OFF	45
5.付録	46
◆ 他の機器との接続	46
◆ スタンドの組立方法	48
◆ 主な仕様	49
◆ MIDI IMPLEMENTATION CHART	50

各部の名称と働き ①

演奏してみよう ②

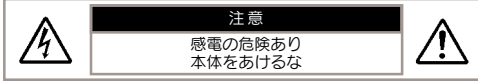
録音・再生 ③

設定モード ④


付録 ⑤


◆ 安全上のご注意


ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。




注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。


 このマークは、感電の危険があることを警告しています。


 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

 △記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

 ○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

 ●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止



- 電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
- 発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない



- 感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける、かける、こぼす）などしない

- 漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機の上に乗ったり倒したりしない

落とさない



- 運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
- イス組立時、ネジをしっかりと締める

使用しない



- イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止



- 聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

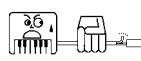
分解禁止



- 故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ



- コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く



- 落雷時に火災の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる



- いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

⚠ 注意

◆本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



- 故障の原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切て行う

電源を切る



- 本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



- 水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

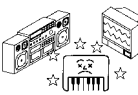
もたれない



- 本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

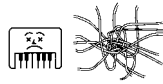
他電気機器から離す



- 本機が雑音を発する恐れがあります。
- 本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする



- コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン/シンナー禁止



- 色落ちや、変形の原因になります。
- 清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



- 変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●容易にコンセントの抜き差しができるよう、本機を電源コンセントの近くに設置してください。

●パイロットランプが消えていても、コンセントを差し込んだ状態であれば、機器に電源がつながっていますので感電に注意ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

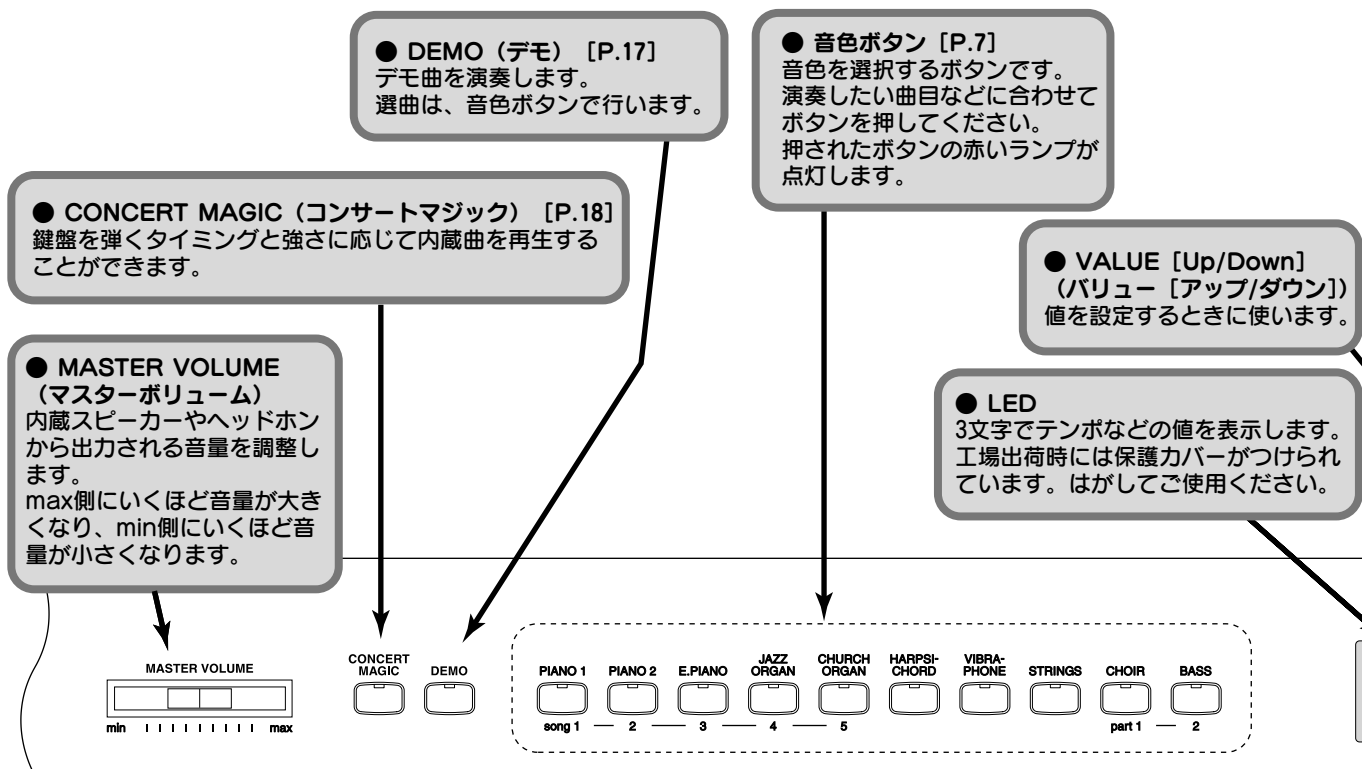
■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

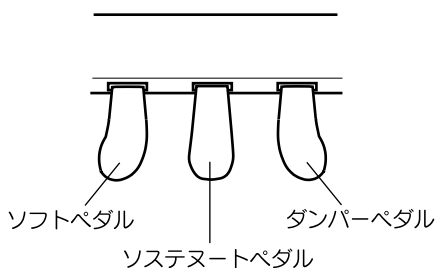
1.各部の名称と働き

レバーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◆パネル図



◆ペダル



●ダンパーペダル

音に余韻を与えます。

ピアノは、鍵盤を押すとハンマーが弦をたたき、音が発音しますが、指を離すとダンパーが弦を止めて発音が止まります。

ダンパーペダルを踏むと指を離してもダンパーが弦を止めないため、音が止まらず豊かな響きが得られます。

●ソステノートペダル

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。

従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

●ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

エフェクトにロータリーが選択されている時には、踏むたびにスピード (Slow/Fast) を切り替えます。

● METRONOME [TEMPO/BEAT] [P.24]
(メトロノーム [テンポ・ビート])
メトロノーム音を鳴らし、テンポ/拍子/音量を設定します。

● EFFECT (エフェクト) [P.14]
コーラス効果、ディレイ効果、トレモロ効果、
ロータリー効果の選択をします。

● SPLIT (スプリット) [P.11]
鍵盤を低音部、高音部に2分割し、別々の音色で演奏
できます。スプリットポイントは自由に設定できます。

● Dual/Split Balance
(デュアル/スプリットバランス) [P.10, 12]
デュアル演奏する場合の2つの音色の音量
バランスやスプリット演奏する場合の左右
の音色の音量バランスを設定します。

● REVERB (リバーブ) [P.13]
音にリバーブ効果(残響効果)を与える
ことで、美しい響きが得られます。
3Dリバーブを選択すると拡がりのある
残響が得られます。

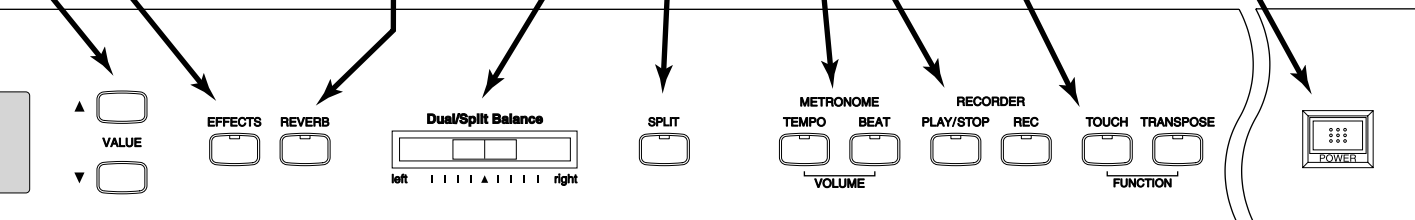
● RECORDER [PLAY/STOP.REC]
(レコーダー [プレイ/ストップ.レック]) [P.26]
PLAY/STOP.RECの2つのボタンを使って、
演奏を録音、再生することができます。

● FUNCTION (ファンクション) [P.31]
TOUCH/TRANSCOPEボタンを同時押しで、
設定モードに入ります。

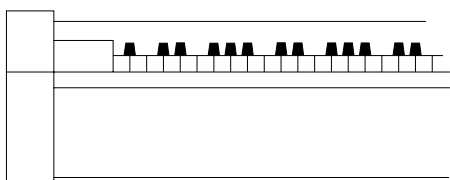
・ TOUCH (タッチ) [P.15]
タッチの感度を切り換えるボタンです。
消灯でノーマルタッチです。

・ TRANSCOPE (トランスポーズ) [P.16]
弾き方を変えずに移調する機能です。
調の異なる楽器とのアンサンブルや、歌の伴奏
をする時などに便利です。

● POWER (電源スイッチ)
電源をON/OFFするスイッチです。
ご使用後は必ず電源スイッチを切っ
てください。



◆ ヘッドホン



●ヘッドホン端子 (2個)

同梱のヘッドホン (SH-2) 等を接続する端子です。
ヘッドホンを2つまで接続できます。
ヘッドホン使用時には、ヘッドホン用の拡がり効果
がかかります。ヘッドホン特有の圧迫感を取り除
き、快適に演奏を楽しむことができます。

2.演奏してみよう

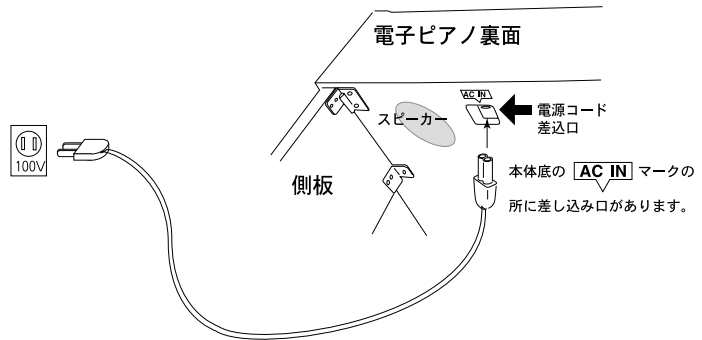
ここでは、電源を入れ音を出すまでの基本的な手順を説明します。

1) 基本操作

◆セッティング

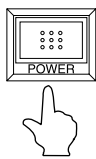
◇操作 1

付属の電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。

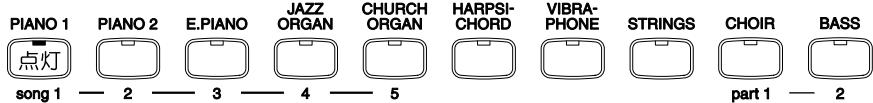


◇操作 2

POWER (電源) スイッチを押して電源をON にします。

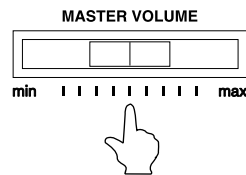


POWER ボタン を押すと音色ボタンのPIANO 1と表示されているボタンが点灯します。



◇操作 3

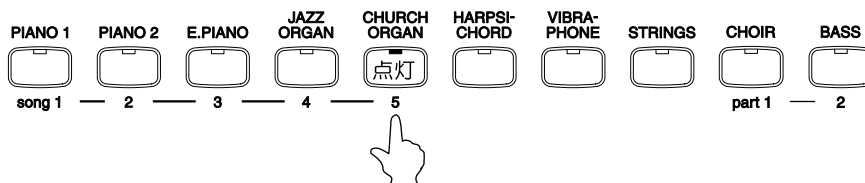
VOLUME レバーを中央付近にセットします。



◆音色の選択

◇操作1

音色を選びましょう。



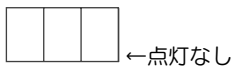
音色ボタンの中から好きな音色を選んで押して下さい。

押された音色のランプが点灯し選択されます。

チャーチオルガンの音で演奏したい場合は、上図のようにCHURCH ORGANボタンを押して点灯させます。BASSボタンでは、3種類のベース音色を選択することができます。BASSボタンを押すたびに、3種類の音色を順に切り換えることができます。

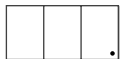
ディスプレイで、現在何番目のベース音が選ばれているかが、表示されます。

BASS1 (ウッドベース)



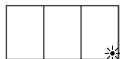
←点灯なし

BASS2 (ベース&ライド)



←右側のドットが点灯

BASS3 (エレクトリックベース)



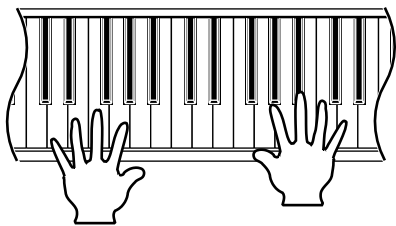
※←右側のドットが点滅

◇内蔵音色

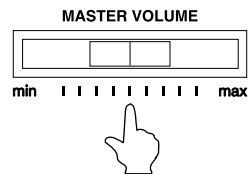
◆ PIANO1 [ピ\ノ1]	当社のフルコンサートグランドピアノ「EX」をサンプリングした音です。
◆ PIANO2 [ピ\ノ2]	ブライトピアノの音です。明るめなピアノの音です。
◆ E.PIANO [エレクトリック\ピ\ノ]	エレクトリックピアノの音です。
◆ JAZZ ORGAN [ジャズ\オルガン]	オルガンの音です。
◆ CHURCH ORGAN [チャーチ\オルガン]	パイプオルガンの音で、教会などで賛美歌演奏に使われています。
◆ HARPSICHORD [ハ\プ\シ\コ\ド]	バロック音楽などで使われている別名チェンバロの音です。
◆ VIBRA-PHONE [ビ\ブ\ラ\ホ\n]	大型の鉄琴の音です。共鳴管の美しい響きが得られます。
◆ STRINGS [スト\リ\ン\グ]	弦楽合奏音です。
◆ CHOIR [クワイ\ア]	人の合唱の声です。
◆ BASS [バ\ス]	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウッドベース：ウッドベース（コントラバス）を指で弾いた音です。 2. ベース&ライド：ウッドベースの音色にライドシンバルの音色を重ねたものです。 3. エレクトリックベース：エレクトリックベースの音色です。

◇操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。



鍵盤を弾けば " 操作1 " で選んだ音で演奏することができます。
音量を調節したい時は、VOLUME レバー を操作します。



■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 64 音です。

2) デュアル演奏

デュアル演奏では2つの音色を重ね合わせて演奏する事ができます。鍵盤を弾くと、選んだ2つの音色が同時に発音し、音に独特の厚みを与えることができます。

◇操作1

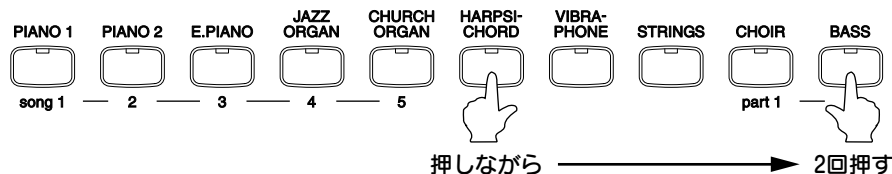
2つの音色ボタンを同時に押します。



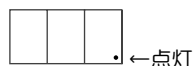
重ね合わせる2つの音色ボタンを同時に押すと2つの音色ランプが点灯します。

チャーチオルガンとビブラホンの音を重ね合わせる場合は、左図のような操作になります。

ハーブシコードとベースを重ねる場合は、ハーブシコードボタンとベースボタンを両方押しますが、ベースの音色をベース2 (ベース&ライド) にしたい場合は、ハーブシコードボタンを押しながらベースボタンを2回押します。



このときディスプレイの右下にドット (点) が点灯し、ベース2 (ベース&ライド) が選ばれていることを示します。

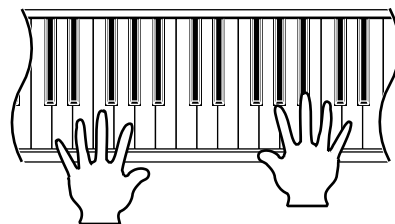


ベース3 (エレクトリックベース) を選ぶ場合は、同様にハーブシコードボタンを押しながらベースボタンを3回押します。ディスプレイのドット (点) はこのときは点滅します。

◇操作2

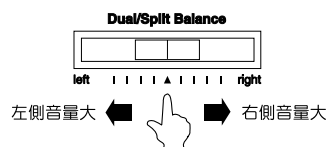
鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した2つの音色が重なって発音されます。



◇操作3

Dual/Split Balance レバー で2つの音色のバランスを設定します。



左側に動かすと、音色ボタンの左側音色の音量が大きくなります。
右側に動かすと、音色ボタンの右側音色の音量が大きくなります。

◇操作4

デュアル演奏を解除する時は、音色ボタン のどれか1つを押します。

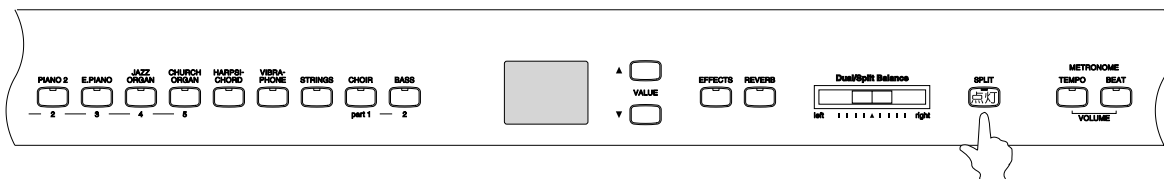
新たに音色が選択されると同時に、デュアル演奏の設定が解除されます。

3) スプリット演奏

スプリットポイントを境に鍵盤を左右2つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

◇操作1

SPLIT ボタンを押します。



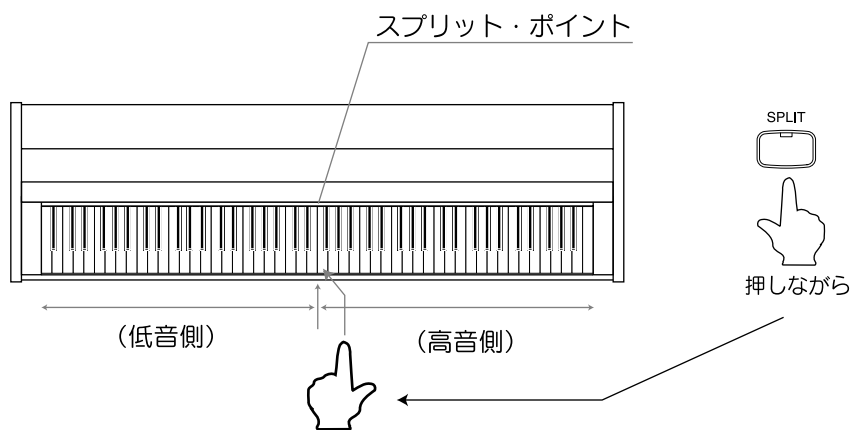
SPLIT ボタンのランプが点灯します。
音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。

点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されている BASS 音色です。
スプリットポイントは、中央の C (ド) に設定されています。

◇操作2

スプリットポイントを変更したい場合は、SPLIT ボタンを押しながら鍵盤を押します。

押した鍵盤が、高音側の最低音になります。



◇操作3

鍵盤を弾いてみましょう。

スプリットポイントを境に別々の音色で鳴ります。
右手でコードやメロディー、左手でベースラインを弾いてアンサンブル演奏を楽しむことができます。

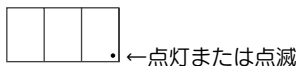
◇操作4

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点灯します。

BASS ボタンをつづけて2回以上押すと、BASS 音色グループ内の3音色を順に選択できます。

高音側にベース2（ベース&ライド）またはベース3（エレクトリックベース）が選ばれたときは、ディスプレイの右下のドット（点）が点灯または点滅して、そのことを示します。



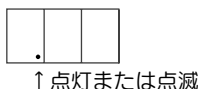
◇操作5

低音側の音色は、SPLIT ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。

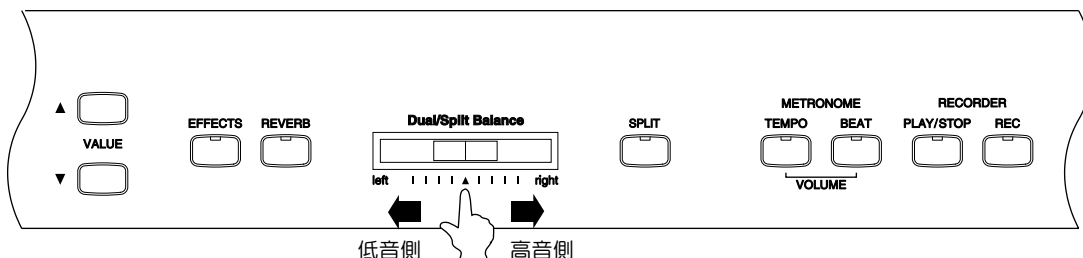
SPLIT ボタンを押しながら BASS ボタンをつづけて2回以上押すと、BASS 音色グループ内の3音色を順に選択できます。

低音側にベース2（ベース&ライド）またはベース3（エレクトリックベース）が選ばれたときは、ディスプレイの左下のドット（点）が点灯または点滅して、そのことを示します。



◇操作6

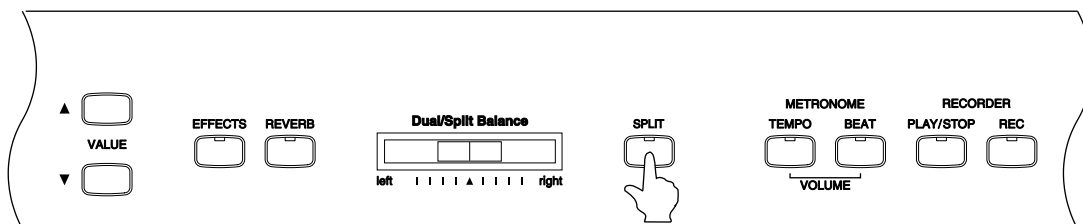
Dual/ Split Balance レバーを動かして、高音側と低音側の音量バランスを設定します。



◇操作7

スプリット演奏を解除する時は、再度 SPLIT ボタンを押します。

SPLIT ボタンのランプが消灯します。



■低音側鍵盤の音に、オクターブシフト（音程を0～3オクターブ上げること）を設定することができます。（P.44参照）

■低音側鍵盤の音に、ダンパーペダル効果のオン/オフの設定ができます。（P.45参照）

4) リバーブ / エフェクト

◆音に REVERB (リバーブ) 効果を加える

◇ リバーブとは？

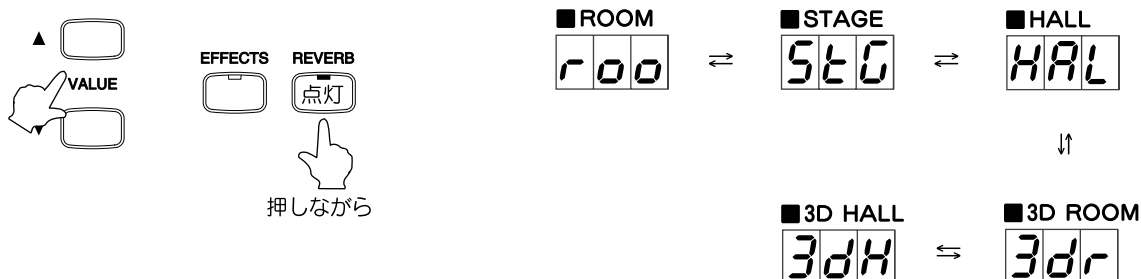
リバーブ効果を加えると、音に残響効果加わり深みのある美しい響きが得られます。
本機では、以下の5種類のリバーブを用意しています。

- ◇ ROOM 室内で演奏している時の残響効果が得られます。
- ◇ STAGE ステージで演奏している時の残響効果が得られます。
- ◇ HALL ホールで演奏している時の残響効果が得られます。
- ◇ 3D ROOM 室内で演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。
- ◇ 3D HALL ホールで演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。

◇操作1

REVERB ボタン を押しながら VALUE ボタン でリバーブの種類を選びます。

REVERB ボタン のランプが点灯します。



REVERB ボタン を押している間、LED に今選ばれている
リバーブの種類が表示されます。

REVERB ボタン を押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

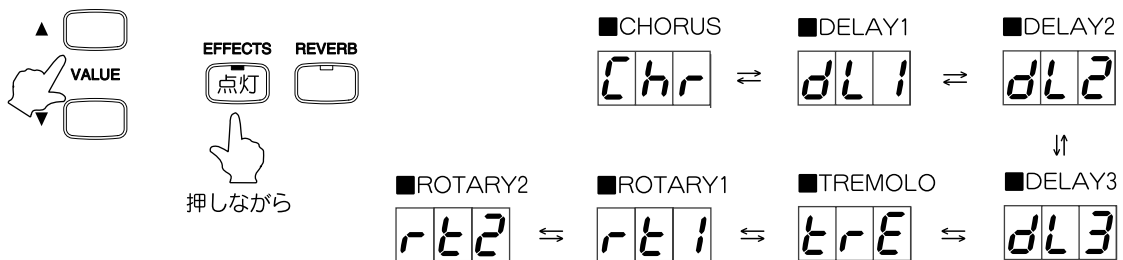
◆音に CHORUS (コーラス) / DELAY (ディレイ) 1,2,3 / TREMOLO (トレモロ) / ROTARY (ロータリー) 効果を加える

- ◇ コーラス 音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることで、音に広がりを加えます。
- ◇ ディレイ 音に山びこ (エコー) のような反響音を加える効果です。
本機では 3 種類のディレイ効果を用意しています。
- ◇ トレモロ 音に " ゆらぎ " を与える効果です。ビブラホンの音にかけると効果的です。
- ◇ ロータリー-1 回転式スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダル (Page.4) を押すことによって回転の早さを切り換えることができます。
- ◇ ロータリー-2 上記のロータリー効果に歪み効果を加えます。

◇操作 1

EFFECTS ボタン を押しながら **VALUE ボタン** で効果の種類を選びます。

パネル上の EFFECTS ボタンのランプが点灯します。



EFFECTS ボタン を押している間、LED に今選ばれている効果の種類が表示されます。

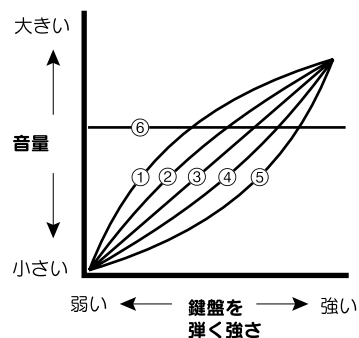
EFFECTS ボタン を押して消灯させると、音色の効果は解除されます。

再度 EFFECTS ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

5) タッチカーブ・セレクト

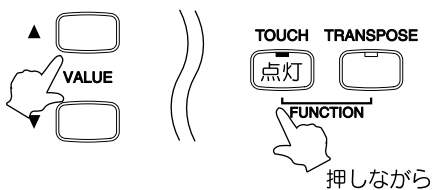
ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。鍵盤を弾く強さと音量の関係を線グラフにしたものがタッチカーブです。本機では、6種類のタッチカーブを装備しています。

- ① LIGHT2 : 弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
- ② LIGHT1 (ライト) : 小さなお子様や、オルガンプレイヤー向けのタッチカーブです。
- ③ NORMAL (ノーマル) : アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
- ④ HEAVY1 : 強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
- ⑤ HEAVY2 (ヘビー) : 指の力の強い人や練習向けのタッチカーブです。
- ⑥ OFF : 鍵盤を弾く強さに関係なく常に一定の大きさを発音します。



◇操作

TOUCH ボタンを押しながら VALUE ボタン を押して
タッチの種類を選びます。



TOUCH ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間LEDに現在選ばれているタッチカーブが表示されます。VALUE UP/DOWN ボタンを押してタッチカーブを選択します。

ここで選択したタッチカーブは、TOUCH ボタンのランプが点灯時に有効になります。TOUCH ボタンのランプが消灯時は、NORMAL (ノーマル) に設定されます。電源を入れたときはライト1に設定されているので、TOUCH ボタンを押すとライト1のタッチカーブになります。

■ Heavy2 ■ Heavy1 ■ Light1 ■ Light2 ■ Off
 HE2 ⇒ HE1 ⇒ LE1 ⇒ LE2 ⇒ OFF

6) トランスポーズ

調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾き方を変えずに簡単に移調できます。本機では-12~+12 (2オクターブ) の間で設定できます。数字は半音単位で、1オクターブは12半音です。

◇操作

TRANSCOPE ボタン を押しながら VALUE ボタン で移調させます。



TRANSCOPE ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間、現在セットされているトランスポーズの値がLEDに表示されます。

電源 ON 時は「0」に設定され TRANSCOPE ボタンのランプは消灯しています。

VALUE ▲ ボタン を押す度に半音ずつ調が上がり、VALUE ▼ ボタン で半音ずつ調が下がります。

◆ TRANSCOPE ボタンのランプは、八長調 (C) 以外のキーにセットされている時に点灯します。

例えば、ここで「-3」にセットしておき、TRANSCOPE ボタンのランプを点灯させれば、半音3つ分音が下がり TRANSCOPE ボタンのランプを消灯させれば、ワンタッチで八長調 (C) のキーに戻ります。

7) デモ曲の演奏

本機には各内蔵音色毎にその音色を生かした
デモ曲（ピアノ1の音色デモを9曲、他の音色は各1曲）
を20曲内蔵しています。
各音色のデモ曲は以下の通りです。

- | | | | |
|----------|---|----------------|--|
| ● PIANO1 | : ハンガリー舞曲 第一番/ブラームス
: 黒鍵のエチュード/ショパン
: アラベスク第一番/ドビュッシー
: トルコ行進曲/モーツァルト
: エリーゼのために/ベートーベン
: 別れの曲/ショパン
: 花の歌/ランゲ
: 貴婦人の乗馬/ブルグミュラー
: 幻想即興曲/ショパン | ● PIANO2 | : オリジナル |
| | | ● E.PIANO | : オリジナル |
| | | ● JAZZ ORGAN | : オリジナル |
| | | ● CHURCH ORGAN | : トッカータ/ジグー |
| | | ● HARPSICHORD | : フランス組曲第6番/バッハ |
| | | ● VIBRAPHONE | : オリジナル |
| | | ● STRINGS | : 四季“春”/ヴィヴァルディ |
| | | ● CHOIR | : オリジナル |
| | | ● BASS | ウッドベース: オリジナル
ベース&ライド: オリジナル
エレクトリックベース: オリジナル |

◇ 操作 1

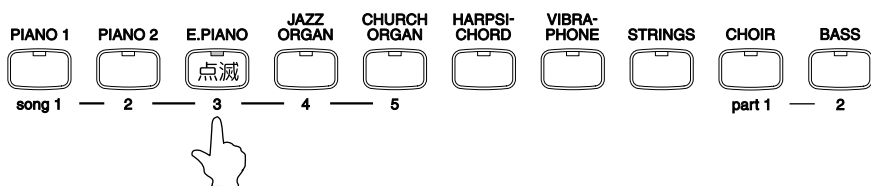
DEMO ボタンを押します。



DEMO ボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。
そのまま何も操作しなければ、ピアノ1の音色デモ曲が演奏されます。
ピアノ1のデモ曲の演奏後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
再度 DEMO ボタンを押すまで演奏を続けます。

◇ 操作 2

操作1でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して、曲を変更することができます。



■ピアノ1のデモ曲は、9曲内蔵しており、順に再生されますが、PIANO1ボタンを繰り返し押すことにより、次の曲を選ぶことができます。

◇ 操作 3

再度、DEMO ボタンかPLAY/STOP ボタンを押すと演奏が止まります。

8) コンサートマジック

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。
本機には、コンサートマジック88曲を内蔵しており、3つのモードで楽しむことができます。

◆モード1：マジカルタクト モード ([- 1])

一定の間隔で鍵盤を押すことで演奏を進めることができます。

演奏のテンポやボリュームは、鍵盤を押すタイミングや強さで変えることができます。

鍵盤を押すタイミング (曲：スケーターズ・ワルツ)

◆モード2：マジカルメロディー モード ([- 2])

メロディーのタイミングに合わせて、鍵盤を押すことによって伴奏がついてきます。

伴奏のテンポやボリュームは、鍵盤を押すタイミングや強さで変えることができます。

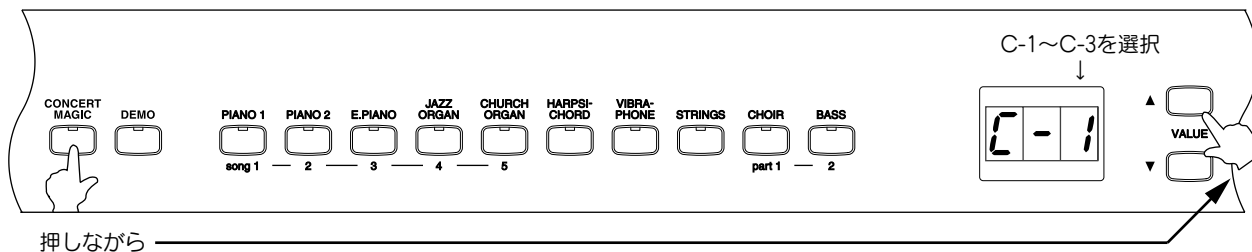
◆モード3：マジカルメロディー&キー モード ([- 3])

鍵盤を弾くと、その鍵盤の音程で発音します。伴奏はそれに合わせてついてきます。

慣れてきたら実際に正しい音程の鍵盤でメロディーの音を弾いてみましょう。P.20の説明のように、Dual/Split Balanceスライダーで伴奏のみ発音するように調節すれば、あなたの弾いたメロディーに伴奏がついてくるという演奏ができます。

◇モードの選び方

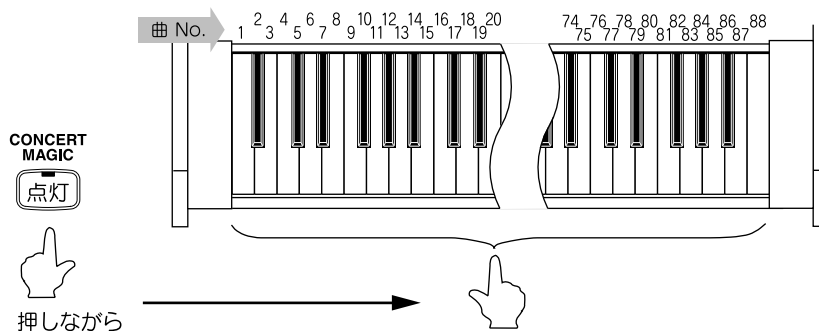
CONCERT MAGIC ボタンを押しつづけるとLEDに現在のモード番号C-1 (モード1) が表示されます。この状態で VALUE ボタンを押してモード番号 (C-1 ~ C-3) を選択することができます。選択するモード番号を表示させ CONCERT MAGIC ボタンから手を離します。



◆ コンサートマジックの演奏

◇ 操作 1

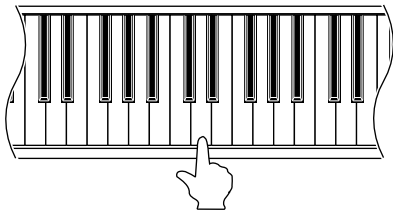
CONCERT MAGIC ボタンを押しながら曲が割り当てられている鍵盤を押します。



88曲のコンサートマジック曲は、鍵盤に割り当てられており、この鍵盤を使って曲を選択することができます。
(22 ページ表参照)
LED には、曲ナンバーが表示されます。

◇ 操作 2

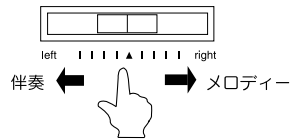
任意の鍵盤を弾きます。



鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。
また、鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の2パートからできており、
Dual/Split Balance レバーで2パートの音量バランスを調整することができます。



◇ 操作 3

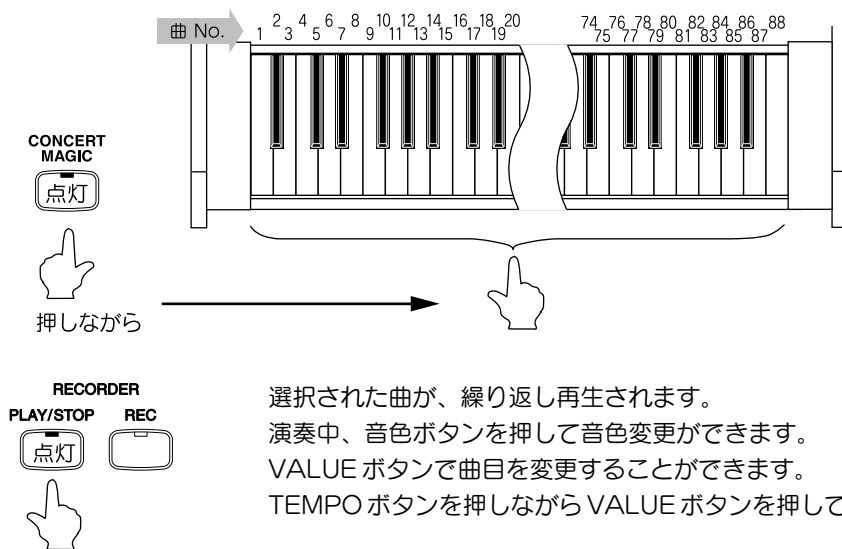
再度、CONCERT MAGIC ボタンを押すと通常の演奏状態に戻ります。

◆コンサートマジック曲の再生

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

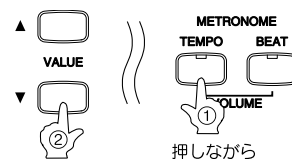
◇操作1

CONCERT MAGICボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、PLAY/STOPボタンを押します。



◇操作2

演奏を止めるには、もう一度PLAY/STOPボタンか
CONCERT MAGICボタンを押します。



CONCERT MAGIC ボタンを押した場合、通常の演奏状態に戻ります。

◆その他の再生方法（チェイン再生 / グループ再生 / ランダム再生）

※チェイン再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずにPLAY/STOPボタンを押します。
1曲目から88曲目まで順番に繰り返し再生します。

※グループ再生

DEMO ボタンを押しながら鍵盤を押します。

コンサートマジック曲は、いくつかの音楽カテゴリー別にグループ分けされています。グループ再生では、選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.21の「ドレミの歌」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.1～No.27のグループ「子供の曲」を繰り返し再生します。グループの内容についてはP.22、23を参照してください。

※ランダム再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、DEMO ボタンを押します。

全コンサートマジック曲を対象に、順不同に曲の再生をし続けます。但し、1曲目は「きらきら星」です。

◆コンサートマジック曲目

【グループ】			【曲名】	【作曲者】	
子供の曲 (27曲)	最低音	1	きらきら星	フランス民謡	
		2	ロンドン橋	イギリス民謡	
		3	ふるさと	岡野貞一	
	ド	4	山の音楽家	ドイツ民謡	
		5	もみじ	岡野貞一	
		6	ゆき	文部省唱歌	
		7	七つの子	本居長世	
		8	10人のインディアン	アメリカ民謡	
		9	さくらさくら	日本古謡	
		10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡	
		11	ひらいたひらいた	わらべうた	
		12	かくれんぼ	下総皖一	
		13	虫のこえ	文部省唱歌	
		14	アイアイ	宇野誠一郎	
		15	うみ	井上武士	
		ド	16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
			17	かたつむり	文部省唱歌
	18		春がきた	岡野貞一	
	19		もりのくまさん	アメリカ民謡	
	20		タヤケコヤケ	草川信	
	21		ドレミの歌	O.ハマー・スタイン、R. ロジャース	
	22		北風こそうの寒太郎	福田和禾子	
	23		ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡	
	24		ゆかいな牧場	アメリカ民謡	
	25		パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン	
	26		河はよんでいる	G.ベアール	
	27		こいぬのマーチ	外国曲	
ディズニー／アニメ／スクリーン (13曲)	ド	28	狼なんか怖くない	F.チャーチル	
		29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟	
		30	ハイホー	F.チャーチル	
		31	ビビディバビディブー	マークデビッド他2名	
		32	星に願いを	L.ハーライン	
		33	小さな世界	シャーマン兄弟	
		34	ミッキー・マウスマーチ	J.ドッド	
		35	さんぽ	久石譲	
		36	エーデルワイス	O.ハマー・スタイン、R. ロジャース	
		37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟	
		38	虹の彼方に	H.アーレン	
		39	となりのトトロ	久石譲	
		アメリカのクラシック音楽 (9曲)	ド	40	サザエさん
41	聖者の行進			アメリカ民謡	
42	おじいさんの古時計			アメリカ民謡	
43	リパブリック賛歌			アメリカ民謡	
44	アルプス一万尺			アメリカ民謡	
45	ロンドンデリーの歌			アイルランド民謡	
46	ケンタッキーの我が家			フォスター	
47	故郷の人々			フォスター	
48	草競馬			フォスター	
クラシック (31曲)		49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡	
		50	喜びの歌	ベートーベン	
		51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ	

【グループ】			【曲名】	【作曲者】
クラシック (31曲)	ド	52	天国と地獄	オッフェンバック
		53	新世界より家路	ドボルザーク
		54	エンターティナー	ジョプリン
		55	メヌエット ト長調	バッハ
		56	花のワルツ	チャイコフスキー
		57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
		58	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
		59	闘牛士の歌	ビゼー
		60	ピチカート ボルカ	ヨハン・シュトラウス
		61	ブラームスの子守歌	ブラームス
		62	ワシントンポストマーチ	J.P.スーザ
		63	アメリカン パトロール	ミーチャム
		ド	64	眠りの森の美女
	65		ガボット	ゴセック
	66		軍隊行進曲	シューベルト
	67		ジムノペディ 1番	サティ
	68		プレリュード イ長調	ショパン
	69		皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
	70		メープル リーフ ラグ	ジョプリン
	71		双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
	72		びっくりシンフォニー	ハイドン
	73		凱旋行進曲	ヴェルディ
	ド	74	エリーゼのために	ベートーベン
		75	アヴェマリア	シューベルト
		76	ハバネラ	ビゼー
		77	ジプシーの歌	ビゼー
		78	未完成交響曲	シューベルト
		79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
		80	婚礼の合唱	ワーグナー
	クリスマスの曲 (4曲)	81	おめでとウクリスマス	イギリス民謡
		82	ジングルベル	ピアポント
83		もろ人ごぞりて	讚美歌	
84		きよしこの夜	グルーバー	
世界の民謡 (4曲)	85	フニクリフニクラ	デンツァ	
	86	こぎつね	ドイツ民謡	
	87	アニーローリー	スコットランド民謡	
	ド	88	サンタルチア	ナポリ民謡

コンサートマジック曲集のご案内

メロディー譜とピアノ譜が掲載されているコンサートマジック曲集をご用意致しました。
詳しくは、同梱の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

9) メトロノーム

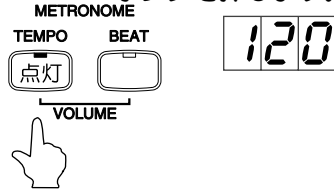
メトロノームを使って練習をしましょう。

本機では、1/4 拍子、2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子、5/4 拍子、6/8 拍子が設定できます。

◆メトロノームの発音とテンポ設定。

◇操作 1

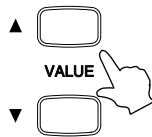
TEMPO ボタンを押します。



TEMPO ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。
LED にそのテンポの値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン を押してテンポの早さを設定できます。



LED にテンポが表示されている間、テンポの値を ♩ =30 ~ 300 の範囲で
設定できます。(6/8 拍子のときは、♪ =60 ~ 600)



◇操作 3

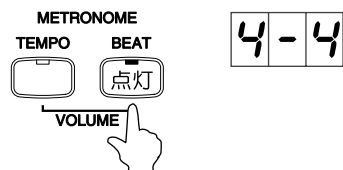
再度、TEMPO ボタン を押すとメトロノームが止まります。

TEMPO ボタンのランプは、消灯します。

◆メトロノームの拍子設定。

◇操作 1

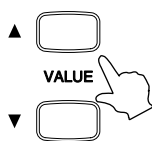
BEAT ボタンを押します。



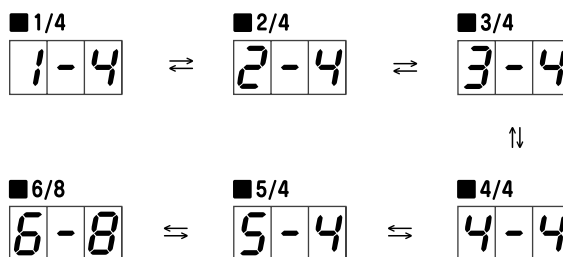
BEAT ボタン が点灯し、LED にその拍子が表示されメトロノームが発音します。

◇操作 2

VALUE ボタン を押して拍子を選択します。



LED に拍子が表示されている間、1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/8 拍子より選択することができます。



◇操作 3

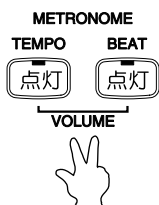
再度、BEAT ボタン を押すと、メトロノームが止まります。

BEAT ボタンのランプは、消灯します。

◆メトロノームの音量設定。

◇操作 1

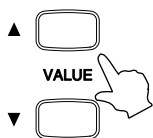
TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押します。



METRONOME (TEMPO と BEAT) ボタン が点灯し、メトロノームが発音します。LED にその音量の値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン を押して音量を設定します。



LED に音量が表示されている間、1 ~ 10 の範囲で設定できます。



◇操作 3

再度、TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押すと、メトロノームが止まります。

TEMPO ボタン、BEAT ボタンのランプは、消灯します。

3.録音・再生

1) 録音

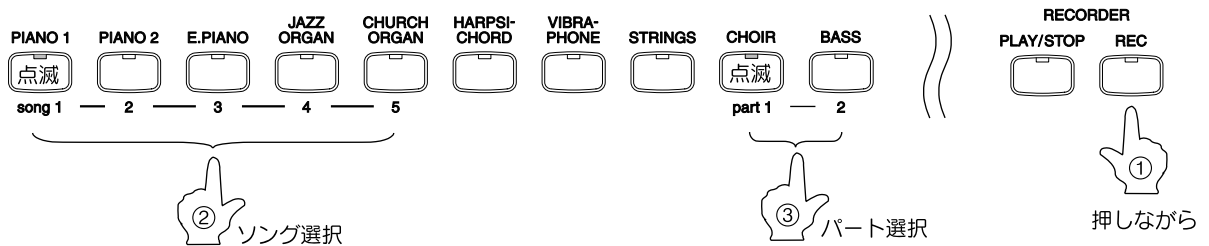
本機では、自分の演奏を5曲まで、録音し再生することができます。

それぞれの曲（ソング）は、2つのパートから構成されており、1曲に2回の演奏を録音することができ再生時には、重ね合わせて再生できます。

録音は、録音する曲（ソング）の番号とパートを選択して行います。
song ボタンと part ボタン は、音色ボタンに対応しています。

◇操作 1

REC ボタン を押しながら、ソングとパートを選択します。



REC ボタン を押ししている間、song ボタン とその part ボタンが各1コづつ点滅しています。
この点滅しているボタンが録音の行われるソングとパートです。

(この時、song ボタン と part ボタンを押して録音するソングとパートを変更できます。)

ソング2に録音する場合は song2 ボタン（PIANO2）、ソング3に録音する場合は song3（E.PIANO）を押して点滅させます。

パートの選択をしないと自動的にパート1が選択されます。

この時、REC ボタン を押しながら part2 ボタン を押してランプを点滅させパート2へ録音することもできます。

REC ボタン を離すと点滅していた song ボタン と part1 ボタンのランプが消灯し、REC ボタンのランプが点滅します。（録音待機状態）

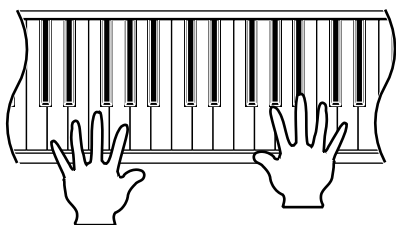
また同時に音色のランプ（設定する以前に選択していた音色）が点灯します。

ここで録音を行う音色を設定できます。

◇操作 2

鍵盤を弾いて録音をスタートします。

(PLAY/STOP ボタン を押しても録音を開始できます。)



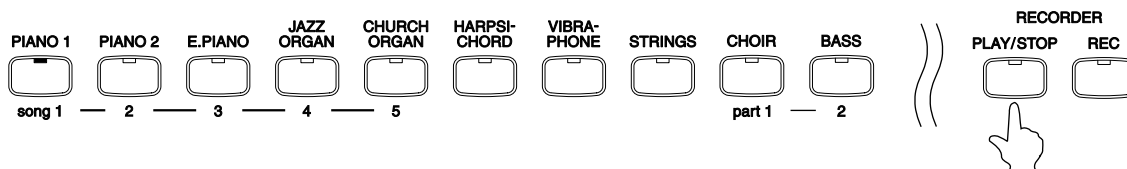
鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。

このとき、PLAY/STOP ボタンと REC ボタン のランプが点灯します。

録音中の音色変更も記憶されます。

◇操作 3

演奏が終わったら PLAY/STOP ボタン を押して録音を終了します。

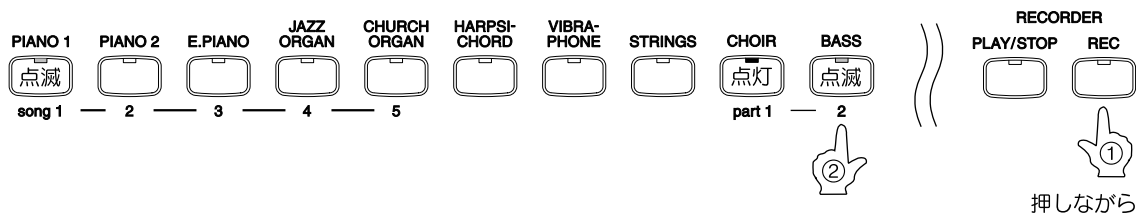


REC ボタン と PLAY/STOP ボタン のランプが点滅し、録音処理が完了するとランプが消灯します。

◆ひき続き、パート 1 に録音した演奏を聴きながら、パート 2 の録音をしてみましょう。

◇操作 1

REC ボタンを押しながら part2 ボタン を押します。

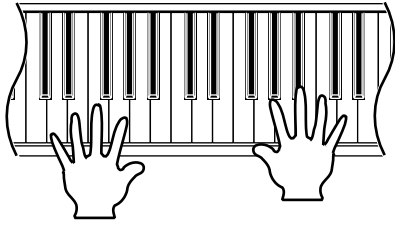


指定された song1 ボタン と part2 ボタン のランプが点滅します。

また、part1 ボタン のランプが点灯しますが、これは既に録音したパート 1 が再生待機状態であることを示しています。

◇ 操作 2

鍵盤を弾きパート2への録音を開始します。



鍵盤を弾くと自動的にパート2の録音が始まり、同時にパート1が再生されます。

このときREC ボタン とPLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

鍵盤を弾かずにPLAY/STOP ボタンを押して録音をスタートさせることもできます。

◇ 操作 3

PLAY/STOP ボタン を押し録音を終了します。

REC ボタンとPLAY/STOP ボタンのランプが点滅し、パート2の録音とパート1の再生がストップします。録音処理が完了するとランプが消灯します。

- ◆ レコーダーの総記憶容量は、約 10,000 音です。録音中に記憶容量一杯になったときは、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
- ◆ レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。
- ◆ パート1に既に録音されているソングのパート2に録音するとき、パート1の演奏を再生しないでパート2に録音したいときは、REC ボタン を押す前にPLAY/STOP ボタン を押し part1 ボタンを押して消灯します。
- ◆ 録音中のパネル操作に関して...
 - ・音色変更は記憶します。
 - ・デュアル/スプリットモードの移行は記憶します。
 - ・エフェクト設定の変更は記憶せず、現在選ばれている音色のエフェクトがそのまま使われます。
 - ・テンポ変更は記憶しません。
 - ・デュアルバランスの変更は録音されません。録音直前のバランスで録音されます。
 - ・タッチカーブ、トランスポーズボタンのON/OFF変更は、録音されません。再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音程で再生されます。

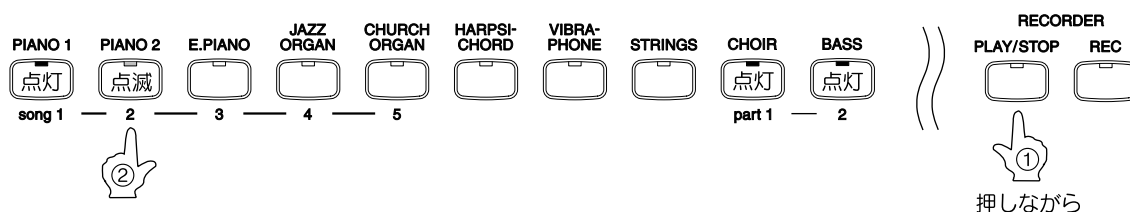
2) 再生

録音した曲を再生します。

◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら再生する song ボタンを押します。

押した song ボタンが点滅します。



PLAY/STOP ボタン を押している間点灯している song ボタン が録音されているソングです。
ソング2を再生する場合は、PLAY/STOP ボタン を押しながら song2 ボタンを押します。

■再生中には、演奏情報は、MIDIデータとして送信します。(P.36 参照)

パート1は1ch,パート2は、2ch固定で 送信します。

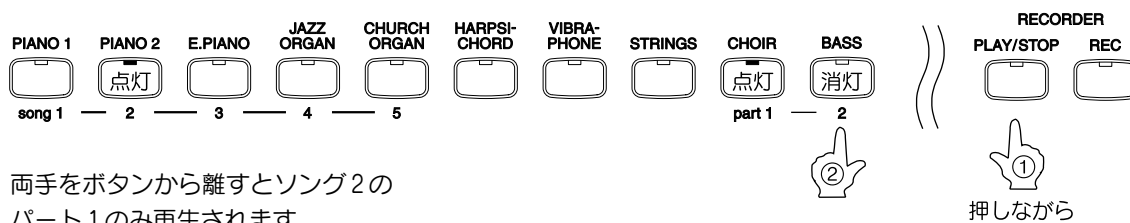
デュアルを録音したときは、パート1は9ch,パート2は10ch の情報を加えて送信します。

◆再生パートの選択

上の操作でPLAY/STOP ボタンを押した状態の時、パートのランプが点灯していると再生され、消灯していると再生されません。パート2を再生しないようにするには、下記のような操作になります。

◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら part2 ボタン を押し消灯させます。



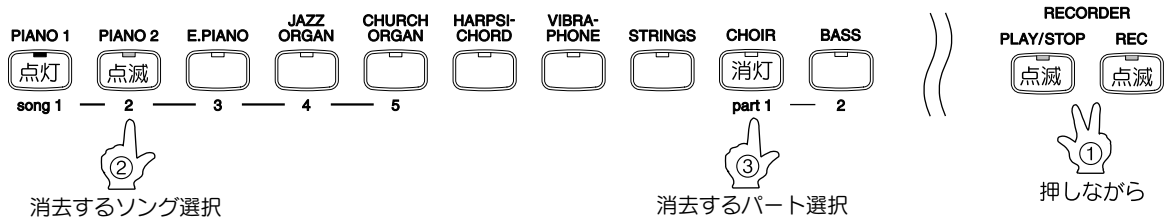
両手をボタンから離すとソング2の
パート1のみ再生されます。

3) パートのデータの消去

録音に失敗したり、いらなくなった曲をパート毎に消去します。

◇操作

PLAY/STOP ボタン と REC ボタン を同時に押しながら、消去する song ボタン と part ボタン を選択します。



PLAY/STOP ボタン と REC ボタン を同時に押すと、現在選択されているソングのランプが点滅し、録音されているパートのランプが点灯します。

song ボタン を押してソングを選んだ後、消去する part ボタンを押してランプを消灯させたら、そのソングのパートのデータが消去されます。

上図は、ソング2のパート1を消去します。

- ◆ ソングを選んだだけでは曲は消去されません。
- ◆ 複数のソングやパートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。
- ◆ 録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOP ボタンと REC ボタン を押したまま、電源を入れてください。

4.設定モード

本機には、ピアノの演奏を楽しむために、いろいろな状態を設定することができます。
これを " 設定モード " といいます。

◇設定モードのメニュー

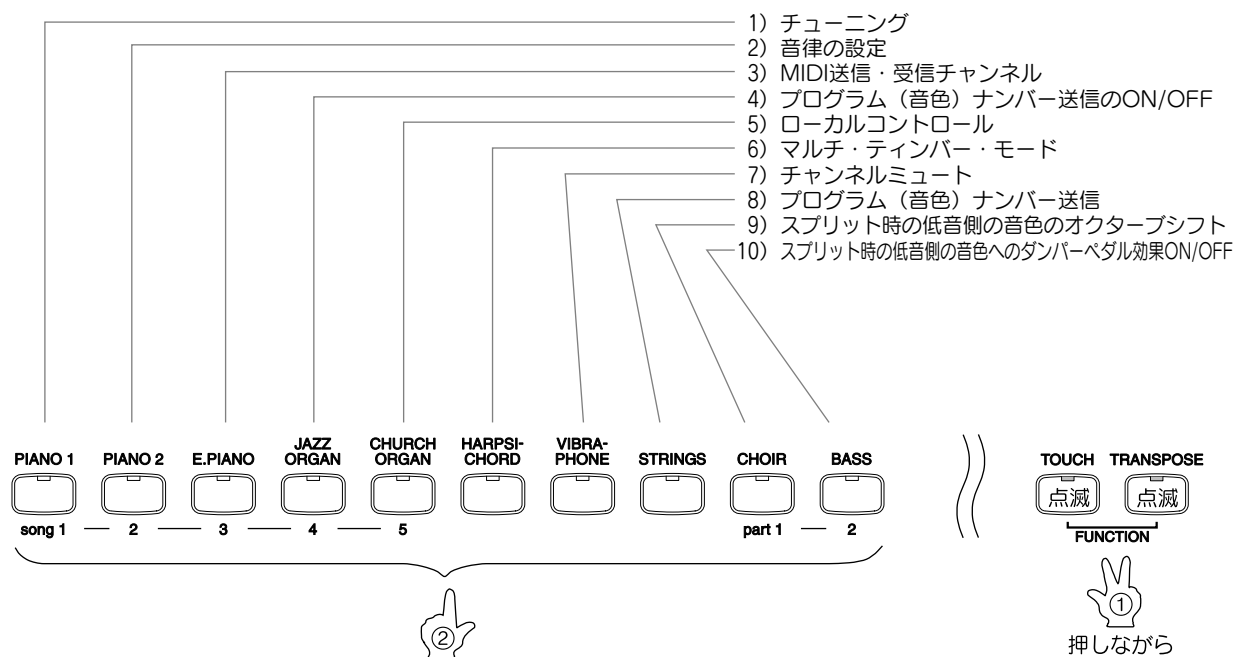
- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1) チューニング | 6) マルチ・ティンバー・モード |
| 2) 音律の設定 | 7) チャンネルミュート |
| 3) MIDI 送信・受信チャンネル | 8) プログラム (音色) ナンバー送信 |
| 4) プログラム (音色) ナンバー送信の ON/OFF | 9) スプリット時の低音側の音色のオクターブシフト |
| 5) ローカルコントロール | 10) スプリット時の低音側の音色へのダンパーペダル効果ON/OFF |

電源を入れた時は、ここで設定した値は自動的に初期値に設定されています。

◆ 設定モードへの入りかた

◇操作

FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を押しながら
各メニューが割り当てられた音色ボタンを押します。

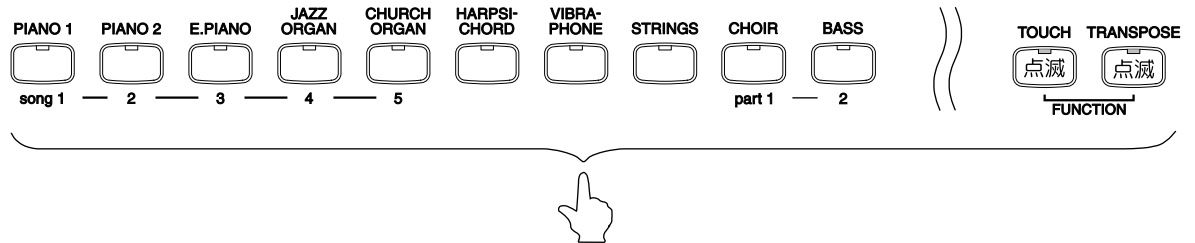


押された3つのボタンが点滅します。

◆ 設定モードの終わり方

◇ 操作

TOUCH ボタンまたは TRANSPOSE ボタンを押すか、音色ボタンを押して音色を選択します。



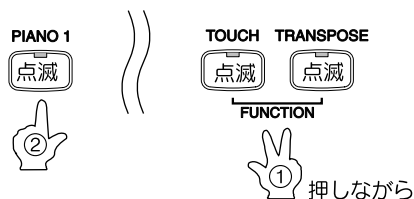
ランプの点滅が消え " 設定モード " から出ます。

1) チューニング

チューニング調整は、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

◇操作 1

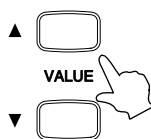
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン+TRANSCOPE ボタン）を押しながら、PIANO1 ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン で値を設定します。



本機では、『A』の音を基準にして設定をします。
427.0 ~ 453.0 (Hz) の範囲を 0.5Hz の単位で設定ができます。
表示は、百の位が省略されて十の位以下が示されています。

27.0 ~ **53.0** = 427.0 ~ 453.0

◆この状態で鍵盤を弾くと、“設定モード”にはいる前に選ばれていた音色が鳴ります。
チューニング調整は、この音色を使って行います。音色を変えたい場合は一度“設定モード”から出て音色を選びなおしてから、再度“操作 1”、“操作 2”の操作を行います。

◆電源オン時は、440.0Hz に設定されています。

2) 音律の設定

ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。

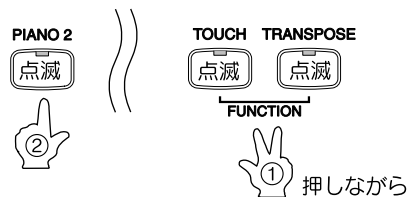
本機に内蔵されている音律の設定は、以下の通りです。

◆ 平均律 (ピアノ) (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律 (フラット) に従います。
◆ 純正律<長調> (Pure major)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ 純正律<短調> (Pure minor)	純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
◆ 中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特長の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第III法 (Werkmeister) ◆ キルンベルガー第III法 (Kirnberger)	調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
◆ 平均律 (フラット) (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特長があります。
◆ 平均律 (ストレッチ) (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

◇操作 1

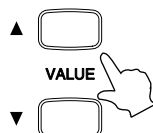
FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を
押しながら、PIANO2 ボタンを押します。

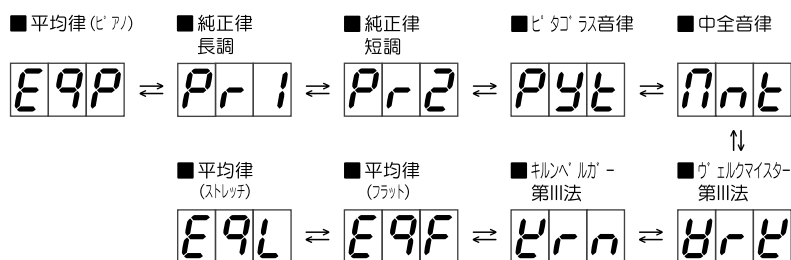
押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている
音律が表示されます。



◇操作 2

VALUE ボタン で音律を設定します。



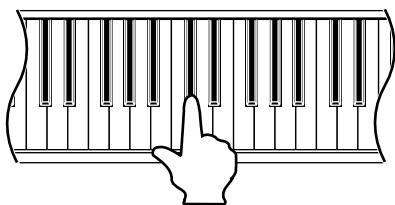


電源オン時は、平均律(ピアノ)に設定されています。

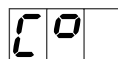
この場合、ピアノ音色を選択した時、自動的に平均律ストレッチ(ピアノの調律曲線を使った平均律)に設定され、ピアノ以外の音色の時には、自動的に平均律フラットに設定されます。

◇操作3

鍵盤を押して、音律の調(キー)を設定します。



C#の鍵盤を押す。



設定は88鍵全部でできます。
鍵盤を押したら、LEDに調が表示されます。

◆ 平均律を選択した場合は、調の設定をしても変化はありません。

C →	C	F# →	F#
C# →	C#	G →	G
D →	D	G# →	G#
D# →	D#	A →	A
E →	E	A# →	A#
F →	F	B →	B

◆ MIDI 機能の使い方

ここで、MIDI について説明をしておきます。

◆ MIDI について

MIDI について簡単に説明します。

MIDI (ミディ) とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

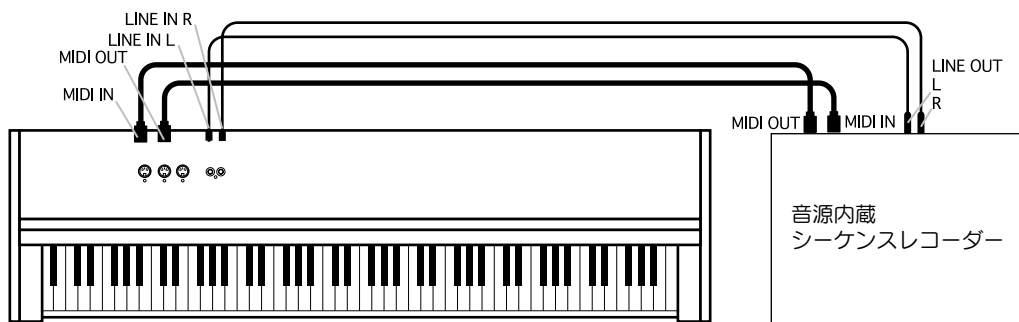
MIDI 端子には、IN, OUT, THRU の3つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN	: 鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	: 鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU	: 受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

◇外部機器を使つての録音 / 再生



図の様に MIDI 対応音源内蔵レコーダーに接続すれば、電子ピアノの演奏情報を録音し、それを再生することができます。電子ピアノの練習に役立てることができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン (P.41 参照) にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハーブシコード、ピブラフオンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。

また、音源内蔵レコーダーの内蔵音色を使ってピアノ演奏を楽しむこともできます。

その他、外部機器との接続は、P.46 をご覧ください。

◆本機 MIDI 機能

本機の MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信

電子ピアノを弾いてシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを 1～16 の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信

電子ピアノと MIDI で接続したシンセサイザー等の音色（プログラムされた音色）を電子ピアノ側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダルのオン/オフ情報の送信・受信ができます。また、ソステヌートペダルの場合は、オン/オフの送信ができます。

◆ ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、電子ピアノの音を出しているとき、シンセサイザーで電子ピアノの音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバーの設定

電子ピアノが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

◆ エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信

レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

本機の MIDI 機能についての詳細は、" MIDI インプリメンテーションチャート "（巻末）をご覧ください。

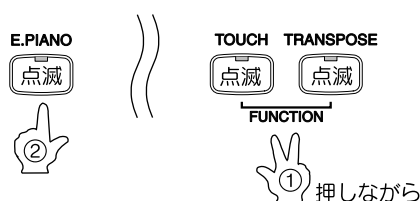
3) MIDI 送信・受信チャンネル

接続されたMIDI楽器とさまざまな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。

チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、本機ではそれぞれ別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

◇操作1

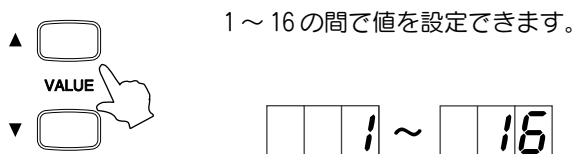
FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSCOPE ボタン) を
押しながら、E.PIANO ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作2

VALUE ボタンで値を設定します。



◆本機は電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

◆マルチティンバーモードがオン (P.41) のとき

スプリット演奏時：低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

例えばここでチャンネルを3に設定して、マルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の演奏は、4チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時：第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。(但し、チャンネルを16に設定した場合は、1チャンネルで送信します。)

4) プログラム(音色)ナンバー送信 のON/OFF

◆ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

本機では、通常の演奏中に10個の音色ボタンを切り替えることにより、下表に対応したプログラムナンバーを送信できるようになっています。

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、エフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

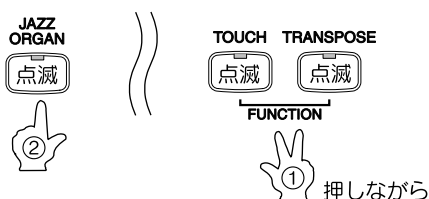
この音色ボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないか(オン / オフ)を設定することができます。

◆音色に対応する送受信プログラムナンバー

音 色	送受信プログラム・ナンバー	
	マルチティンバー - ON時	マルチティンバー - OFF時
PIANO1	1	1
PIANO2	2	2
E.PIANO	5	3
JAZZ ORGAN	18	4
CHURCH ORGAN	20	5
HARPSICHORD	7	6
VIBRAPHONE	12	7
STRINGS	49	8
CHOIR	53	9
Wood Bass (BASS1)	33	10
Wood Bass & Ride (BASS2)	33(バンク90)	11
Electric Bass (BASS3)	34	12

◇操作1

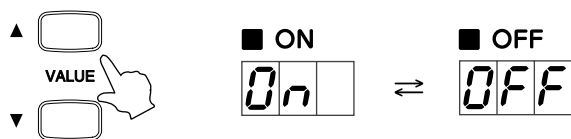
FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を
押しながら、JAZZ ORGAN ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作2

VALUE ボタン で値を設定します。



電源オン時は、音色ボタン によるプログラムナンバーの送信は、自動的にオンにセットされています。

デュアル/スプリットモード時には、デュアル/スプリットモードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。
(マルチティンバー ON のときは、送信します。)

5) ローカル・コントロール

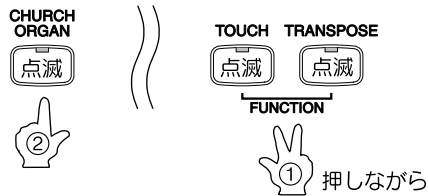
本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定します。

ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾くと本体の音が鳴ります。

一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を MIDI OUT し、外部からの MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

◇操作 1

FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を押しながら、CHURCH ORGAN ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。



◆OFF に設定した場合、鍵盤を押しても音はでません。

◆電源オン時、ローカルコントロールは、オンに設定されています。

6) マルチ・ティンバー・モード

通常は、設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送信受信しますが、マルチ・ティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

この機能により、外部にシーケンサーなどをつないで、本機1台で複数の音色（マルチ・ティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

本機では、マルチ・ティンバー・モードをONに設定すれば、各チャンネル毎にプログラムチェンジ情報を受信することによってP.39の表に従った音色変更をします。

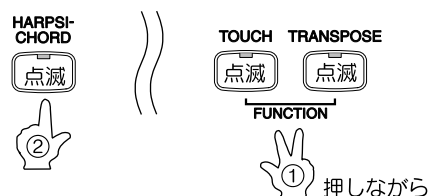
表以外のプログラムナンバーを受信した場合は、発音しません。

また、チャンネルミュートの設定をすることができます。（P.42 参照）

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン+TRANSCOPE ボタン）を押しながら、HARPSICHORD ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。



◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。



マルチ・ティンバー・モード がオフのときに、MIDI 情報を受信すると、そのとき選ばれていた音色セレクトボタンの音色が鳴ります。

マルチ・ティンバー・モード がオンに設定されると、受信したプログラム・チェンジ・ナンバーに従って音色が発音します。

また、受信チャンネルごとに発音のオン / オフを設定することができます。（P.42 参照）

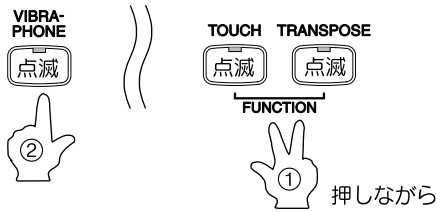
◆電源オン時、マルチ・ティンバー・モードはオフに設定されています。

7) チャンネルミュート

各チャンネルの発音のオン / オフが設定できます。
マルチティンバーモード オンの時のみチャンネルミュートの設定ができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を押しながら、
VIBRAPHONE ボタンを押します。

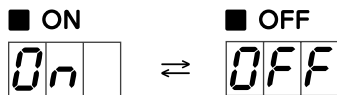
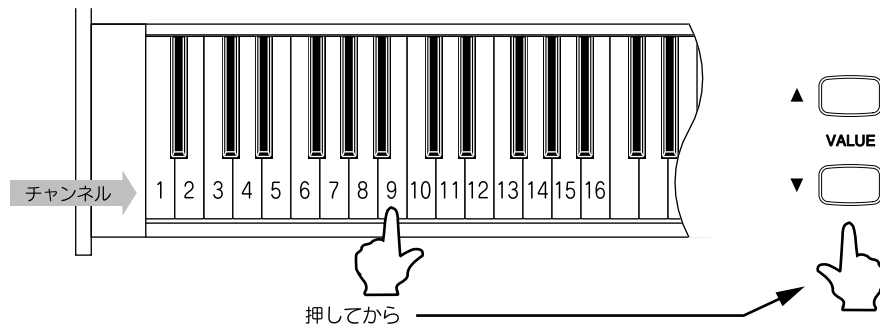


押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

■マルチティンバーモードが、OFF のときはこのモードには入れません。

◇操作 2

左端から 16 個の白鍵でチャンネルを押してから、VALUE ボタンで ON/OFF を設定します。



◆この状態では、鍵盤を押しても音はでません。

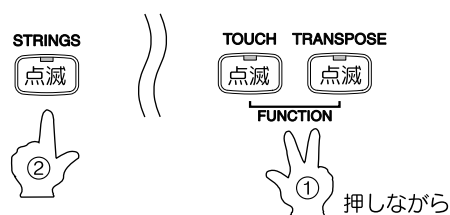
◆電源オン時、1ch が ON で、2 ~ 16ch が OFF に設定されています。

8) プログラム(音色)ナンバー送信

本機では、1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

◇操作1

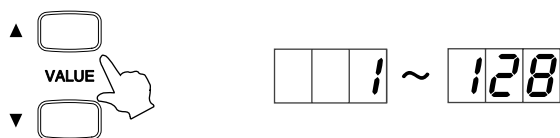
FUNCTION ボタン (TOUCH+TRANPOSE ボタン) を押しながら、STRINGS ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

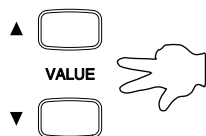
◇操作2

VALUE ボタン でプログラムナンバーを設定します。



◇操作3

2つのVALUE ボタンを同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。

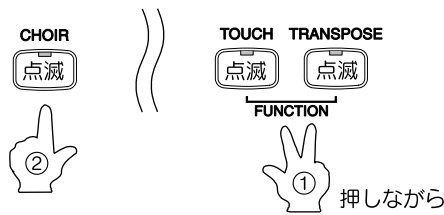


9) スプリット時の低音側の音色のオクターブシフト

スプリット時の低音側の音色の音程を0～3オクターブ上げることができます。
低音側の音程が低すぎる場合に補正したり、左右同じ音程にして、連弾するなどの、様々な演奏を楽しむことができます。

◇操作1

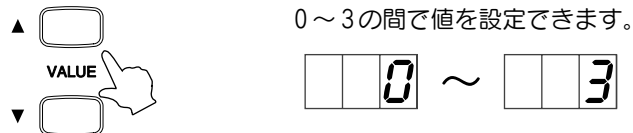
FUNCTION ボタン (TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン) を押しながら、
CHOIR ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作2

VALUE ボタン でオクターブシフトの値 (何オクターブ上げるか) を設定します。



これは SPLIT ボタンが ON のときのみ有効になります。

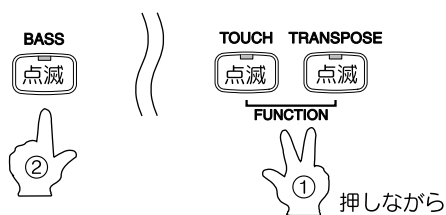
◆電源オン時、0 に設定されています。

10) スプリット時の低音側の音色へのダンパーペダル効果 ON/OFF

スプリット時の低音側の音色へのダンパーペダルを効かせるか (ON) 効かせないか (OFF) を設定します。ベース等は、ダンパーペダル効果を OFF にした方が、クリアな音で演奏できます。

◇操作 1

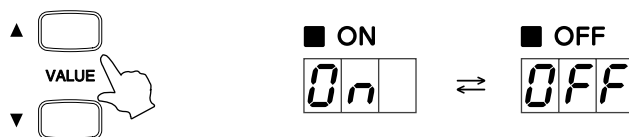
FUNCTION ボタン (TOUCH+TRANPOSE ボタン) を押しながら、
BASS ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで ON/OFF を設定します。

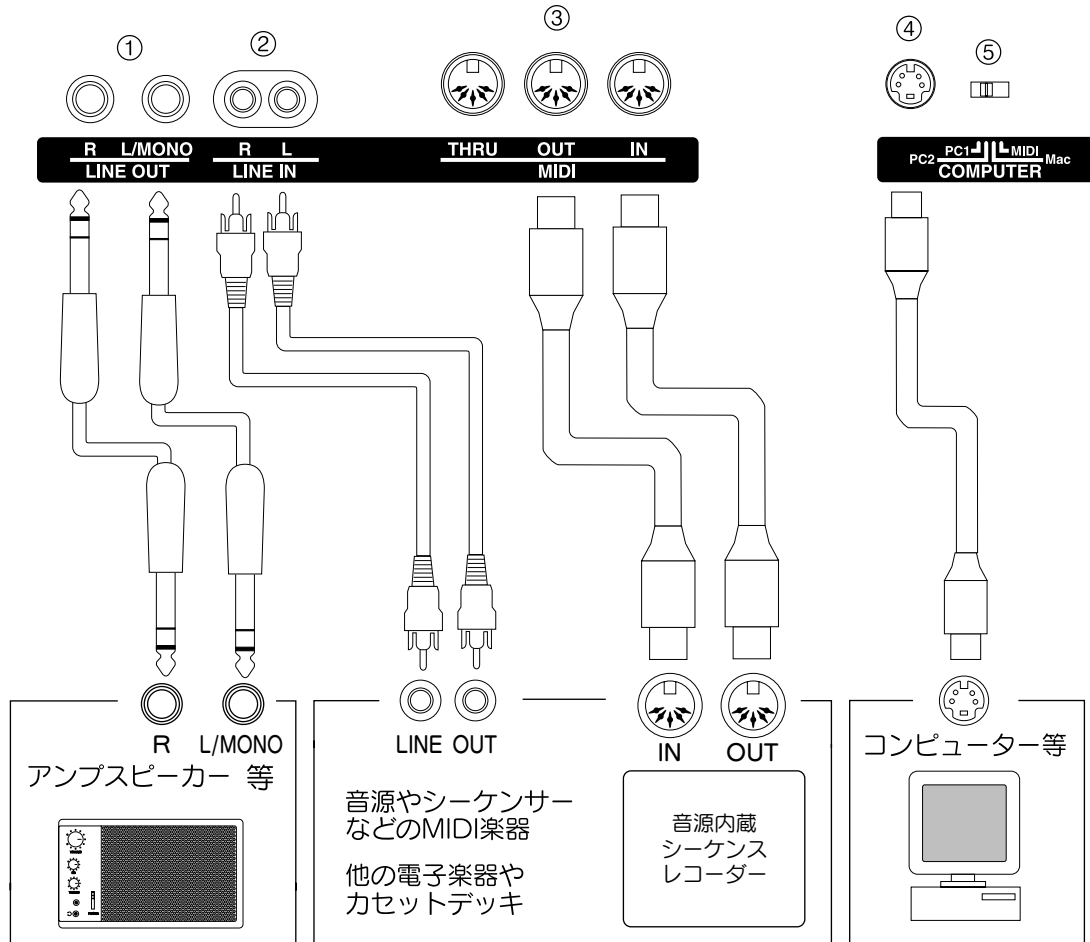


これは SPLIT ボタンが ON のときのみ有効になります。

◆電源オン時、OFF に設定されています。

5. 付録

◆他の機器との接続



⚠ 注意

本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
発振音が発生し、故障の原因になります。

①LINE OUT（ライン出力端子）＜標準ジャック＞

本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R（アール）は右側、L / MONO（エル/モノ）は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

②LINE IN（ライン入力端子）＜ピンジャック＞

他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。R（アール）は右側、L（エル）は左側の入力を示しています。

③MIDI（ミディ）

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

④COMPUTER INTERFACE (コンピュータ接続端子)

別売りの専用ケーブルで接続することで、直接パーソナルコンピュータとMIDIデータをやりとりすることができます。

⑤COMPUTER (コンピュータ)

コンピュータ接続端子を利用して、直接コンピュータと接続するとき、コンピュータの種類に応じて切り換え設定をします。

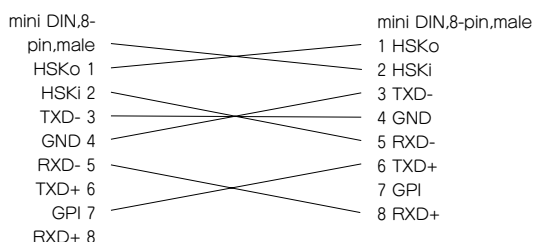
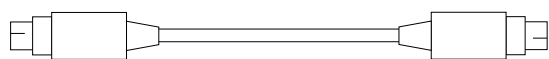
- ・ Mac : マッキントッシュのコンピュータと接続の場合
- ・ MIDI : MIDI端子を使用する場合
- ・ PC1 : NEC (PC98シリーズ) のコンピュータと接続の場合 (NXシリーズ除く)
- ・ PC2 : DOS/Vの互換機 (NEC NXシリーズ含む) と接続の場合

■ USB 機器と接続の際は、USB 対応 MIDI IInterface を介して、MIDI 端子と接続してください。

Apple Macintosh シリーズ接続用ケーブル

■ mini DIN, 8-pin, male

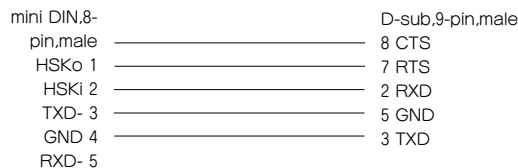
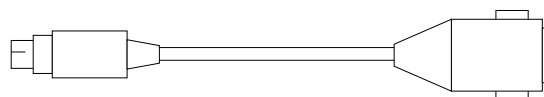
■ mini DIN, 8-pin, male



IBM PC/AT シリーズ接続用ケーブル

■ mini DIN, 8-pin, male

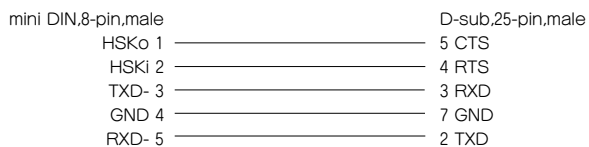
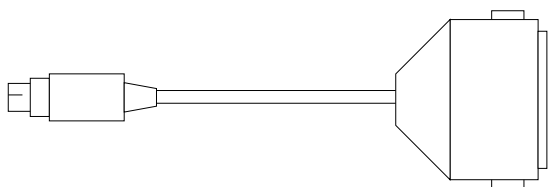
■ D-sub, 9-pin, male



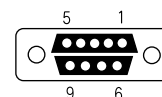
NEC PC9800 シリーズ接続用ケーブル

■ mini DIN, 8-pin, male

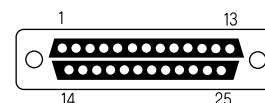
■ D-sub, 25-pin, male



■ mini DIN, 8-pin, male ■ D-sub, 9-pin, male



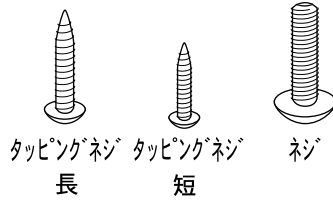
■ D-sub, 25-pin, male



スタンドの組立方法

■パーツ (同梱品)

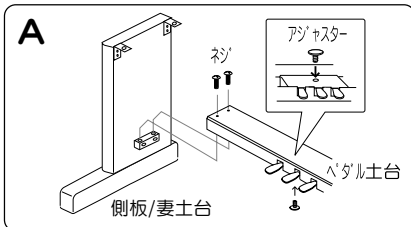
- ①側板/妻土台 2 (左右)
- ②裏板 1
- ③ペダル土台 1
- ④ネジ 8
- ⑤タッピングネジ (長) 2
- ⑥タッピングネジ (短) 4
- ⑦アジャスター 1



【注意】

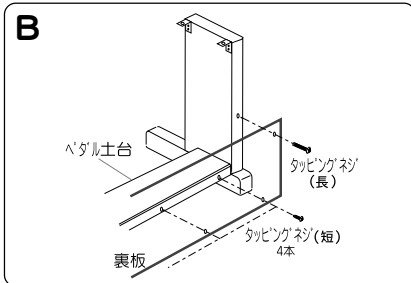
- ◆パーツがすべて、そろっていることを確認してから、床やスタンドを傷つけないように注意して組み立ててください。
- ◆ネジ締めの際、ネジ山、ネジ頭を潰さないよう気を付けてください。
- 電動ドライバー使用の場合、ネジ山、ネジ頭を潰す恐れがありますので、特にご注意ください。
- ◆組立の際は、十分な注意と配慮をお願い致します。

■組み立て順序

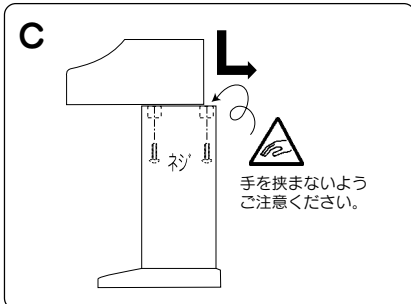


A ペダル土台の裏側からアジャスター (高さ調整ネジ) を1cm ぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

側板/妻土台とペダル土台を4本のネジで固定します。この時、側板/妻土台とペダル土台を密着させて取り付けてください。
側板/妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。



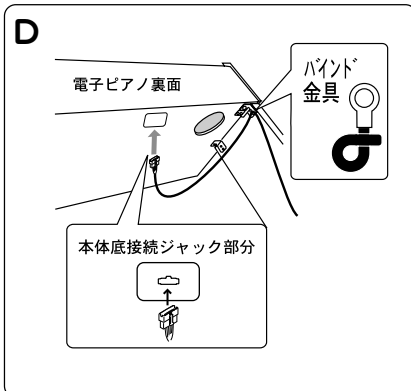
B 裏板を側板に取り付けます。
タッピングネジ (長) で裏板上部を固定します。次に4本のタッピングネジ (短) で下部を固定します。この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。



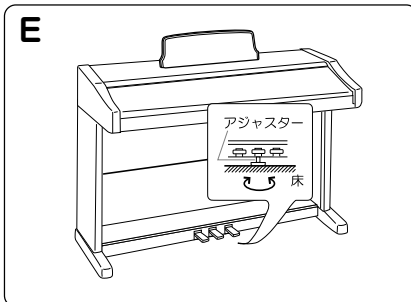
C 本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体の前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

本体とスタンドを4本のネジで固定します。
まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。

⚠ 注意 必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。



D ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にバインド金具で巻き付けて固定して下さい。



E ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。
譜面台を上板の穴に差し込めば組立て完了です。譜面台は穴に充分に押し込んでください。

⚠ 注意 アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
また移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

◆ 主な仕様

■ 鍵盤	88鍵 / アドバンスト・ハンマー・アクションⅢ
■ 発音数	最大64音
■ 音色 (12音色)	ピアノ1/2、エレクトリックピアノ、ジャズオルガン、チャーチオルガン、ハープシコード、ピブラホン、ストリングス、クワイヤー、ベース (ウッドベース、ベース&ライド、エレクトリックベース)
■ 効果	リバーブ (ルーム、ステージ、ホール、3Dルーム、3Dホール)、トレモロ、コーラス、ディレイ1/2/3、ロータリー1/2
■ 音律	平均律 (2)、純正律 (長調/短調)、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第Ⅲ法、キルンベルガー第Ⅲ法
■ その他の機能	ボリューム、トランスポーズ、チューニング、デュアル、スプリットデュアル/スプリットバランス、デモ (20曲)、スプリットポイント変更タッチカーブセレクト (6種類)、コンサートマジック (88曲)、コンサートマジックパートバランス
■ レコーダー	2パート (トラック) ×5ソング、総記録容量 約10,000音
■ メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/8拍子
■ ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
■ 外部端子	ヘッドホン (2)、MIDI (IN、OUT、THRU)、COMPUTER I/F、LINE IN (L、R) <Pin>、LINE OUT (L/MONO、R) <Phone>
■ 出力	40W×2
■ スピーカ	16cm×2
■ キーカバー	スライド式
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	70W
■ 寸法	[W×D×H] 139.2×46.0×83.9 (cm) (セットアップ時、譜面台なしの場合)
■ 重量	44Kg
■ 同梱品	本体 / スタンド一式 / 譜面台 / 電源コード / 取扱説明書 (本書) / 保証書 / スタンド組立図 / 専用椅子 (WB-6) / ヘッドホン (SH-2) / ご愛用者カード / アフターサービスと音楽教室のご案内 / 「楽譜集」のご案内 / 「楽譜集」の払込取扱票 / (全て各1部)

◆ KAWAI [Model PN390] MIDI IMPLEMENTATION CHART

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1 1 ~ 16	1 1 ~ 16	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 * モード1,3	* 電源ON時オムニ・オン。 MIDIチャンネル設定操作に よりオムニ・オフ。
ノート ナンバー 音域	21 - 108 ** *****	0 - 127 15 - 113	** 9-120 トランスポーズを 含む。
ベロシティ ノート. オン ノート. オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ. ベンド	×	×	
コントロール チェンジ	0,32 ○ 7 × 10 × 11 × 64 ○ (右ペダル) 66 ○ (中ペダル) 67 ○ (左ペダル)	○ ○ ○ ○ ○ × ○	バンクセレクト ボリューム パンポット イクスプレッション ダンパーペダル リフターペダル ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ (0 - 127)	○	(プログラムチェンジ 対応表参照)
エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル クロック タイム コマンド	× ×	× ×	
その他 ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ (123~127) ○ ×	
備考			

モード1 : オムニオン、ポリ モード2 : オムニオン、モノ
 モード3 : オムニオフ、ポリ モード4 : オムニオフ、モノ

○: 有り
 ×: 無し

KAWAI

株式会社河合楽器製作所

電子楽器事業本部

〒430-8665 浜松市寺島町200番地

TEL.<053>457-1277 / FAX.<053>457-1279

<http://www.kawai.co.jp>